

ますきやら最優秀作品発表！

観光課・TEL224-5940

観光キャンペーン、各種行事などで活躍する川越市マスコットキャラクター（ますきやら）を製作するため、市ではイメージイラストを募集。市内外から441点が寄せられました。作品は、サツマイモ・時の鐘を題材としたものが多く、蔵・雁・ヤマブキなど川越ならではの魅力がさまざまな形に描かれていました。

応募作品を鏡山酒造跡地に展示し、8月30日から9月13日まで一般投票を実施。886票の投票は、サツマイモ・時の鐘にちなんだ作品に人気が集まりました。

一般投票の傾向を考慮して、川越市マスコットキャラクター選考委員会・作業部会で実施した第1次審査。その結果を基に川越市マスコットキャラクター選考委員会・本部会による第2次審査で協議した結果、右の作品が最優秀賞になりました。選考では、サツマイモは作品としても投票結果でも、多くの市民の支持を得ていること、時の鐘なども加わって川越らしさが表現され、やわらかい線が川越の雰囲気に合っていることなどから、この作品に決定しました。

今後、この作品を原画として、川越市マスコットキャラクターを作成します。キャラクターができましたら、名称の募集と着ぐるみの製作を進めていきます。完成した川越市の「ますきやら」は、各種印刷物やイベントだけでなく、埼玉県「ゆる玉応援団」にも参加する予定です。



作者=畑中皇子さん(西小仙波町1丁目・32歳)

時が薫る川越の観光

社団法人小江戸川越観光協会が50周年を迎えました

小江戸川越観光キャッチフレーズ「時 薫るまち 川越」

作者=浜田あゆ美さん(足利市)



左から、中原秀久市議会議員・川合市長・衆原会長・齊藤英雄川越商工会議所会頭・山崎嘉正県物産観光協会会長

「観光」という言葉が普及し始めた昭和30年代。時代に先駆けて川越市に観光協会が発足しました。その50年に及ぶ歩みを記念して、10月28日、川越プリンスホテルで祝賀会が開催されました。

会場では川合善明市長の祝辞のほか、功労者表彰、記念事業として629点の公募作品の中から選ばれた小江戸川越観光キャッチフレーズが発表されました。「川越を訪れる方が楽しい時を過ごせるよう、先達の心をしっかり受け止め、将来につなげていきます」と、衆原恒久小江戸川越観光協会会長はこれからの抱負を語りました。